

2011.10.1
特別号

ふれあい!

宮城県の教職員の皆様へ

このたびの東日本大震災では、宮城県をはじめとして東北各県に未曾有の被害が生じました。被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。わたくしども東京都教職員互助会は東京都教育委員会の依頼に基づき、宮城県の公立学校に臨床心理士を派遣して教職員の皆様方のこころのケアを行ってまいりました。訪問した気仙沼市及び南三陸町の小学校や中学校では、多くの方々とふれあいを通じて、思いやりの温かさや支えあう気持ちの大切さを再認識することとなりました。

この支援活動は会報ふれあい臨時増刊号として発行し、東京都内の教職員に広く知ってもらうことが出来ました。今後とも東京都教職員互助会は、社団法人として公益事業である被災地支援に積極的に取り組んでまいります。

私たちは東京から応援しています。皆様には全国の教職員がついています。学校の力を信じて支えあう先生たちこそが、復興の大きな力になることは間違いありません。被災地の学校が一日も早く以前の教育活動に戻り、子どもたちの笑顔とそれを見守る教職員の皆様が心身ともに元気で健康であられることを心からお祈り申し上げます。



社団法人東京都教職員互助会
理事長 村松 満

互助会では、健康チェックカードに応援メッセージを添えて、臨床心理士が訪問先の先生方にお渡ししています。都内で開催したメンタルヘルスサポート講演会(東京都教職員福利厚生会主催)において、参加された東京都の教職員の方から、被災地の学校の先生方へ温かいメッセージが寄せられましたので、その一部をご紹介します。



明けない夜はありません!
共に支えあっていきましょう。

毎日、子どもたちのために
ありがとうございます。お身体
を大切になさってください!

私のクラスにも福島の方から
友だちが来ましたが元気です。
東北の皆様、応援しています!!

一日も早い復興を願っています。
協力し合うことの素晴らしさを、
この苦難を乗り越えることで、
教えていきたいです。

子どもの笑顔がパワーの源。
たくさんの笑顔が戻りますよう
に…Fight!

東京から、日本中から応援して
います。心の中の復興もがん
ばってください。

日々いろいろ大変だと思いますが、
時々肩の力をぬいて、ご自身の
体調も大切にしてください。東京
から応援しています。

先生の笑顔が増えますように。
子どもたちの成長が未来への
希望です。(笑顔のためにも無理
しすぎないでくださいね)

希望をもって日本の未来を
支える子どもと一緒に育ん
でいきましょう。

無理せず一步一步、少しずつ
でも出来れば何かが変わると
信じています。でも疲れたら
休みましょう。

まず、ご自分を労ってください。
現場で大変な思いをしている
先生方も、とても大切で大事に
されるべき、お一人なんです。

子どもたちの力を、先生たちの
力を信じ続けます!それが支え
るということ…

“頑張って”“ありがとう”のメッセージ

～東日本大震災支援活動、支援の声～



東日本大震災の発生からおよそ半年が経過しました。総合健康センターでは東京都教育委員会の依頼を受け、被災地の学校に臨床心理士を派遣して、教職員の精神的なケアとしてカウンセリングやメンタルヘルスセミナーを行ってきました。支援チームの活動状況は、ふれあい夏季号の臨時増刊号として、会員の皆様にお伝えいたしました。

被災地の学校では皆さんの応援を受けて、復興に向けて大きな歩みを始めています。

今号では、会員の皆様からお寄せいただいた臨時増刊号の感想や被災地の教職員の方々へのメッセージをお届けします。

臨 時増刊号・被災地への支援チームの訪問レポートを一気に読ませていただきました。合計6名でのご活躍に胸がキューンと締めつけられる様な感動をおぼえました。3月11日からわずか3週間くらいしか経たないのに、すぐに行動を開始された勇気と行動力にただただ頭が下がります。レポートの内容もリアルで、文章から私までそこにいたかのような感じになりました。カラー写真入りで生々しくテレビで見るより身近に感じられました。たった3日間なのに実りのある活動に心が揺さぶられました。また、座談会の内容も細かく、対談内容も分かりやすく大変良かったです。落ち着いた様子第2弾も特集号として出されることを期待しております。本当に良い働きに心から感謝申し上げます。(柏市 Iさん)

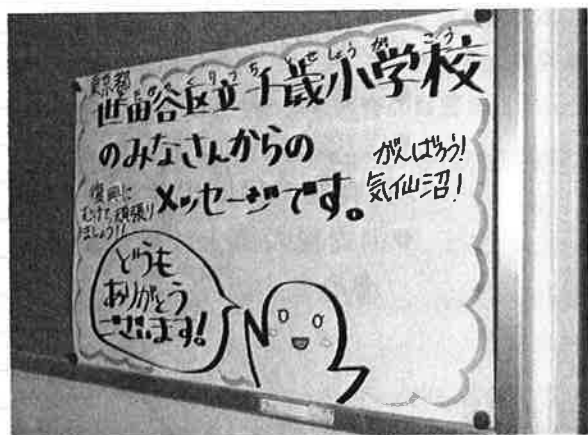
現 地の様子が写真や文章を通じ、とてもよく分かり、被災地へ行った方々に感動しました。私の家の近くにも「立川活断層」が走っているので“明日は我が身か”と思っています。(昭島市 Kさん)

「現地の先生方へ」 1000年に一度の地震や100～300年に一度といわれる津波がいちどに押し寄せてきた今回の被災について、心よりお見舞い申し上げます。

一瞬にして、すべてが消えてしまう津波の恐怖は、次々に報道される中で、驚きとともに言葉もありません。そんな混乱のなかで、東北地方の人々がかつて予想できぬ被害に出会われ、深い悲しみの中にあっても冷静沈着に行動され、皆様がお互いを思いやりながら前向きに力強く前進していこうとされていらっしゃる姿に頭が下がる思いでございます。(中略)

教職員の先生方におかれましては、震災孤児になられた児童・生徒の心のケアとともに学習・スポーツ面でもご指導されつつ、地域の皆様の支援もされていかれることと、そのご苦労はいかばかりか想像できないくらい大きなお仕事を抱えていかれると存じます。ご自身も被害を受けられつつ、ご自身のことをあとして公務に携われるその思いの深さは計り知れないものが多くおありのことと存じます。どうぞ不屈の精神とともに、お身体には十分ご留意いただき、皆様と一緒に活躍いただきますよう心よりお祈り申し上げます。

東北のたいなる未来をつくる子どもたち、先生方、どうぞ頑張ってください！ (武蔵野市 Hさん)



心のこもったメッセージが、廊下の掲示板に丁寧に貼られていました。これからも頑張ってください！



被災地への車中、支援チームは毎回この看板に見送られていました。こちらこそ、ありがとうございます！